

HARMONY ULTRA V2

コーヒーマシン 取扱説明書



お客様へ

この度は、弊社のコーヒーマシン「HARMONY ULTRA V2(ハーモニー ウルトラ ブイツー)」をご購入いただき、誠にありがとうございます。マシンを安全に正しくお使いいただけるように、ご使用前にこのマニュアルをお読みになり、内容を十分ご理解ください。このマニュアルは安全な場所に保管して、必要な時に見ることができる状態にしておいてください。このマニュアルの不明な点やご使用中に発生した問題点に関して記載がない場合、販売代理店、または、マニュアルに記載してある連絡先にお問い合わせください。

ブルーマチックジャパン株式会社

目次

安全上のご注意	3
仕様と各部の名称	6
ディスプレイ表示の説明	7
ご使用前の準備	8
電源 ON(立ち上げ) と電源 OFF にする方法	9
メニュー抽出方法と抽出の停止(キャンセル)の方法	11
次ページへのメニュー切り替え方法	11
スチームの使用方法和使用後のお手入れ	12
マシンのクリーニングについて	13
毎日のクリーニング パワークリーン	14
毎日のクリーニング オールインワンクリーニング	15
毎日のクリーニング パウダー用ミキサー部の分解洗浄	17
週1回のクリーニング ミルカーの分解洗浄	18
週1回のクリーニング パウダーキャニスターの清掃	21
マシン機能上のメッセージ(アラーム)一覧	22
こんな時は	24
こんな時は(トラブルシューティング 1)	25
こんな時は(トラブルシューティング 2)	26
コーヒー抽出ノズルの分解洗浄	27
パウダー用キャニスターの分解洗浄	28
消耗品・スペア部品	30
保証とアフターサービス	31

-安全上のご注意

(安全に関する重要事項です必ずお読みください)

本製品を使用する際には、ご使用前に安全上のご注意をよくお読みになり正しくお使いください。

表示されているマークの説明

 **警告** この表示は、誤った取扱いすると、人が死亡または重傷を負う可能性があること示しています。

 **注意** この表示は、誤った取扱いすると、人が傷害を負ったりその他の人的物的損害が起きる可能性があること示しています。

全般的な注意事項

- 製品の分解や修理は認定されたサービスマン以外では絶対に行なわないでください。
修理や分解組立が正しく行なわれないと、製品が正常に作動せずに水漏れや感電や火災などの原因となります。
(但し、取扱説明書に記載されている清掃や調整は、手順に従って行えば安全です。)
- 本体を改造しないでください。感電や火災の原因となります。
- 異常が発生した場合には、速やかに電源スイッチを切り、本体の電源プラグを抜いて、すぐに販売店もしくは、サービスセンターに連絡をしてください。
(電源スイッチを切る時や電源プラグを抜く時は、感電や火傷に注意してください。)
- 本体の内部にある部品や電気配線、配管などには手や体を接触させないでください。火傷や感電の原因となります。
- この製品が原因でサーキットブレーカーや漏電遮断機が作動をした可能性があるときには、速やかに電源スイッチを切り、本体の電源プラグを抜いて販売店もしくはサービスセンターに連絡をしてください。
そのまま使用すると感電や火災などの原因となります。
- 本体に水がかかったり、付近でガス漏れの可能性がある場合には直ちに使用を止めてください。
ガス漏れの際には使用されているガス器具の注意事項に従って引火や爆発の危険を避けてください。
- 製品を移動する場合には、電源プラグが抜かれていること、本体内部に水やコーヒー豆、コーヒーかす等が無く、十分に冷えていることを確認して行なってください。火傷や感電の原因となります。
- 電源プラグや電源コードを濡れた手で触らないでください。感電の原因となります。

注意

- 電気製品を使用する際には火事、感電、怪我の危険を避けるために、常に安全のための基本的な注意事項を守ることが大切です。電気製品を取り扱う際の一般的な注意事項に従ってご使用ください。
- 製品の点検やお手入れをする時には、取扱説明書に従い、主電源を切り、電源プラグを抜いて行なってください。感電や火傷怪我の原因となります。
- 電源プラグをコンセントへ抜き差しする時には、電源プラグや電源コードの取扱いに十分に注意をしてください。また、電源コードに人や物が絡まったり、つまずいたり、踏まれたりしないようにしてください。感電や火災や怪我の原因となります。
- 長時間製品を使用しないときには、本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。専用コンセントをお使いの場合にはコンセントを電源から抜いてください。また、本体内部の水やコーヒー豆、コーヒーかす等を全て取り出し、洗浄を行ってください。
- 表面が熱くなっている部分には触れないでください。火傷や怪我の原因となります。

- 火事、感電や怪我を防ぐために電源コード、プラグや電気製品を水や液体に浸さないでください。
- 子供が電気製品を使用するときは十分に子供を監督し、子供の近くで電気製品を使用するときには、細心の注意を払ってください。
- 部品の取付、取外しまたは清掃をする時には十分に温度が下がった状態で行なってください。
- コードやプラグが傷んでいたり正常に動かない時には作動をさせないでください。
- 付属品以外のものを使用しないでください。火事、感電や怪我の原因になることがあります。
- 野外では使用しないでください。
- 電源コードが卓上、カウンター上または表面が熱くなる場所の上などに垂れ下がらないようにしてください。
- ガスコンロ、電熱器や熱くなったオープンの上やそばに置かないでください。
- 最初にマシン側に電源コードを差し込んだ後でプラグをコンセントに差し込んでください。
- マシンの電源スイッチをOFFにしてから電源コンセントからプラグを取り外してください。
- 本来の目的以外には使用しないでください。
- スチームやお湯が抽出されている時には十分に注意をしてください。火傷や怪我の原因となります。
- このマシンは業務用のマシンです。

設置及び据付時の注意事項

本製品は、使用及び保守の訓練を受けた要員だけに制限されている場所または訓練を受けた要員が監視できる場所に据付してください。

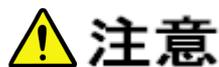
警告

- 本体に供給する電源の工事を行う場合には電気設備工事の専門技術者が行き、電源の容量の確認を行う等、設備工事に不備が無いようにしてください。感電や火災、本製品の故障の原因になります。
- 製品の据付は認定されたサービスマン以外は絶対に行なわないでください。
- 据付を行なう時には、本体の電源コードを損傷させたり、無理な配線をしたりしないようにしてください。電源コードが傷んだままで使用をすると感電や火災、本製品の故障の原因になります。
- 電源コンセントの形状は接地コンセントタイプのものをお使いください。アースが不完全な場合には感電の危険性があります。

注意

- 設置及び据付を行なう際には本体を落下させたり倒したりしないでください。落下や転倒などにより怪我の原因となります。
- 据付をする場所は平坦で水平な場所で、十分に製品の重量に耐えられる場所に設置してください。不安定な場所に設置をすると落下や転倒などにより怪我の原因となります。
- 天然木や天然石の上に置く場合、日常の作業やマシンの洗浄中に水滴や飛沫が飛散し、表面を汚したり変質の原因となることがあります。水や洗浄液飛沫がついても影響の無い材質の上に設置するか、直接飛沫が触れないように保護を行なってください。
- 設置周辺温度は5～35℃になる場所で、直射日光が常に当たる場所、埃や塵が多い場所、湿気が高い場所、振動がある場所などには設置をしないでください。内部の電気部品などの故障の原因となります。
- 本体の周囲に熱がこもらない様に周囲の壁や家具や機器などから10cm以上離して設置してください。熱がこもると電気部品などの故障の原因となります。
- 水道に直結する場合には0.5メガパスカル(MPa)以下の圧力であることを確認してください。高い場合には減圧弁を使用してください。
- 使用の際は、浄水器の設置をお奨めします。硬度の高い環境でご使用の場合は、軟水装置を取り付けることをお奨めします。
- 純水や純度の高い水を使用しないでください。水位センサーが水位の検出ができず、漏水の原因になります。

操作を行なう時の注意事項



- 初めて使用する時、数か月以上使用しなかった後は、キャニスター等の食品に触れる部品は洗浄してください。
- 抽出操作を行なう前に、ノズルの位置に注意し、カップを置いてください。また、高さの低いカップの場合は、カップ置台を使用してください。抽出中は、コーヒーマシンから十分離れてください。抽出液や熱湯の飛沫により火傷の原因になります。
- コーヒーマシンの作動中、コーヒー豆用ホッパーの中に手を入れないでください。怪我の原因になります。
- 抽出ライン(コーヒー/ミキサー/湯等)の洗浄は規定どおりに実施してください。洗浄を行わず放置しておく、系統内に残った抽出液等に細菌が繁殖して衛生状態を悪化させます。
- コーヒー豆用ホッパー及びパウダー用キャニスターは定期的に内部をよく清掃してください。放置しておく、雑菌が繁殖することがあります。
- ホッパー内にコーヒー豆及びパウダーが入っている状態でホッパーを取り外す時には、手順に従って取り外してください。無理矢理外そうとしますとホッパーが破損します。
- 前面パネルのクリアー部分(アクリル製)にアルコール類を使用すると破損します。使用はしないでください。
- 外した部品は乾燥機や食器洗浄機に入れると破損します。使用はしないでください。

使用時とメンテナンス時の注意点

- マシンを正しくお使いいただくために、説明書に従って操作を行なってください。メンテナンス及び安全性の確認は操作内容を十分に理解して行なってください。
- 水の供給をしない状態でマシンを使用しないでください。故障の原因となります。
- 0度以下になる室内に水系統から水抜きをしないままマシンを放置しないでください。凍結により故障の原因となります。
- 機器の清掃には、高圧水洗浄機を使用しないでください。

仕様と各部の名称

仕様：

	HARMONY ULTRA V2	HARMONY 1G2P 1 グライNDER、2 パウダー
幅(mm)	325	
高さ(mm)	745	
奥行き(mm)	560	
満水重量(Kg)	52	
コーヒー抽出グループ数	1	
グラインダー数	2	1
コーヒー豆 ホッパー数	2	1
パウダーキャニスター数	1	2
給湯抽出口	1	1
1日 最大抽出杯数(推奨)	約 100 杯	
コーヒー豆 ホッパー容量(g)	700g 2 基	700g 1 基
キャニスター パウダー容量(g)	1250g 1 基	1250g 2 基
ボイラー容量(コーヒー用/スチーム用)	コーヒー用/スチーム用各 1L	
電気容量/電流(KW/A)	3200W/ 16A	
電源(50/60Hz 共用)	単相 200V	
電源コード	約 2m	
ポンプ	内蔵式 加圧ポンプ	
給水接続方法	15A バルブ止め	
排水接続方法 (排水直結の場合)	20A ワイヤ入り排水ホース	

※仕様は品質向上のため予告なしに変更する場合がございます。

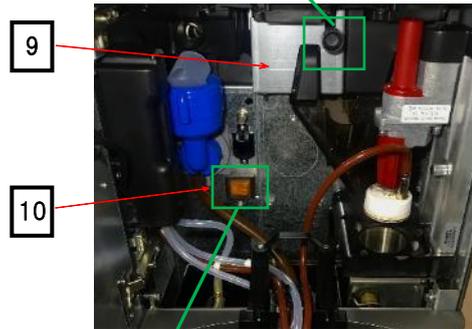
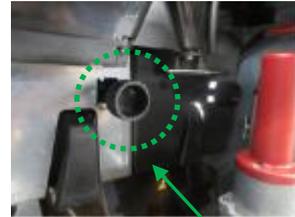
各部の名称： 外装部



1	パウダーキャニスター(容器)
2	コーヒー豆ホッパー (容器)
3	操作パネル(詳細は P7 参照)
4	前面ドアキー
5	スチームノズル
6	高さ調節式抽出口
7	コーヒーカス受け箱
8	排水トレイ・すのこ

コーヒー粉挽き目調整ダイヤル

※注意：サービスマン以外はこのダイヤルを調整しないでください。



主電源スイッチ

(左) ○: OFF

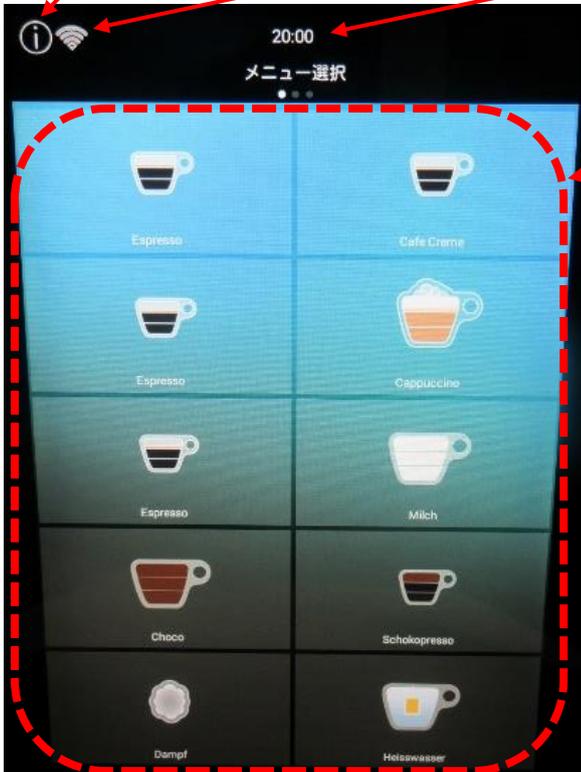
(右) —: ON

ON のときランプが点灯します。

ディスプレイ表示の説明

ディスプレイ画面をタッチやフリック操作することで、操作が可能です。

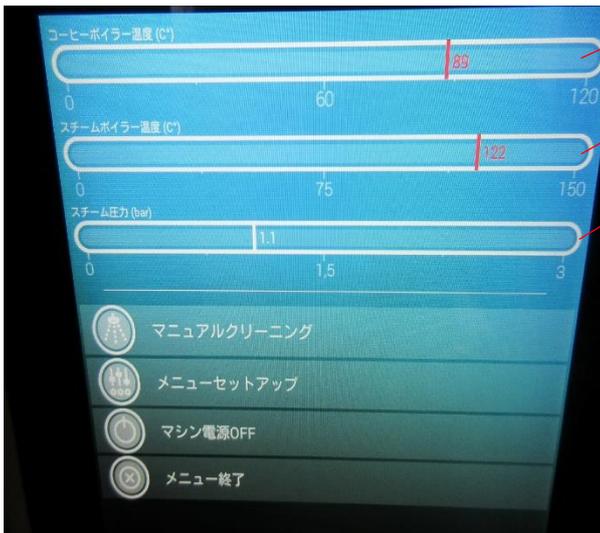
インフォメーション Wi-fi 接続表示 時刻表示



ドリンクメニュー選択画面

- ・インフォメーション
機器システム情報の表示(各ボイラーの温度)
クリーニング操作を行う時やマシンの電源 OFF
- ・Wi-fi 接続表示
将来的な機能となり、現在は使用できません。
- ・時刻表示
現在の時間を表記します。
- ・ドリンクメニュー選択画面
予め設定してあるドリンクメニューを表示しています。

インフォメーションボタンを押したとき:



- 機器のシステム情報
- コーヒーボイラー温度の表示
- スチームボイラー温度の表示
- スチームボイラー圧力の表示

操作関連

- マニュアルクリーニング: クリーニングモードに切り替わります。
- メニューセットアップ: レシピ設定画面に切り替わります。
※サービスマンが使用します。
- マシン電源 OFF : OFF画面に切り替わります。
OFF画面になったら、主電源を OFF します。
- メニュー終了 : ドリンクメニュー選択画面に切り替わります。

ご使用前の準備

1. 給水の元栓が開いている事を確認します。
2. コーヒー豆やパウダー容器に原料が十分入っているか確認し、無ければ補充します。



3. かす箱および排水トレイが空であることを確認します。



4. 前面ドアを開け、主電源スイッチを入れてください。



0 に傾ける = OFF
I に傾ける = ON

ディスプレイ画面が起動し、電源 ON 表示されます。
※システム起動により主電源を入れてから電源 OFF の画面になるまで約 3 分間お待ちください。

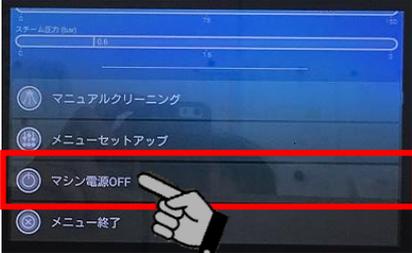
電源 ON (立ち上げ) と電源 OFF にする方法

主電源スイッチを ON にします。

※マシンに通電され、システムが起動します。ディスプレイ中央に「電源 ON」を表記します。

※主電源スイッチを ON にした時は、システム起動のため電源 ON 画面までに立ち上がるまで約 3 分かかります。ご了承ください。

電源ON・立ち上げ(販売画面)にする方法		
1		電源 ON(赤丸部)をタッチして下さい。
2		マシンは立ち上げを開始し、ボイラー温度の温度を表示します。
3	自動リンスの作動 	コーヒーボイラーが 50°C に到達すると自動リンス(すすぎ)機能が作動し、抽出口より湯が出てきます。
<p>※ コーヒーボイラーの温度が 70°C 以上になると機器は販売画面に切り替わります。コーヒーの抽出が可能となりますがまだ、ボイラーは沸かし中です。スチームを使用するメニュー(ミルク関連、スチーム)の抽出が可能になるまで待ちください。</p> <p>メニューアイコンに × マークの表示は準備中(沸き上げ中)のサインとなります。</p> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;">   </div>		
4		ボイラーが規定温度に到達後、「メニューの販売画面」に切り替わります。予め設定しているメニュー配列で表記します。

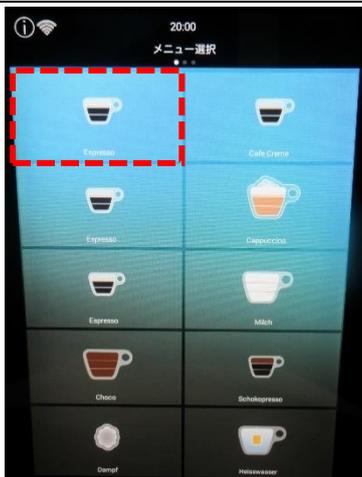
電源OFF(待機画面)にする / 主電源を OFF する方法		
1		ディスプレイ左上の「i」マークをタッチします。
2		マシン電源 OFF をタッチします。 マシンはOFF画面になります。
3		マシン電源 OFF 状態 ※この時マシンは OFF 状態ですが、マシンには通電されています。

このまま主電源を切る場合は、
前面ドアを開け、主電源スイッチを0に傾けてください。



0に傾ける=OFF
Iに傾ける= ON

メニューの抽出方法と抽出停止（キャンセル）の方法

抽出方法（キャンセル方法）		
1		トレイの上にカップを置きます。
2		<p>販売画面の表示中、抽出したいメニューをタッチして下さい。</p> <p>例)この場合、左上のエスプレッソを押したと仮定します。</p>
3	<p>抽出停止(キャンセル)の時は</p> 	<p>※誤って抽出ボタンを押してしまった場合は、左記の【 × 】マークをタッチしてキャンセルして下さい。</p>

次ページのメニューへ切り替え方法

1	 <p>ページ戻る</p> <p>次ページへ</p>	<p><u>画面上に指をおき、左右にフリックしてください。</u> <u>1 ページ標記以上のメニューが設定されている場合は、メニュー画面が左右に切り替わります。</u></p> <p>※この時軽くタッチしてしまうとメニュー抽出してしまう事もありますので注意してください。</p> <p>※反応しにくい場合は、1 秒程度押して下さい</p>
---	---	---

スチームの使用方法と使用後のお手入れ

マシンが立ち上がり、ディスプレイに抽出可の状態であることを確認してから操作してください

- 1 温める容器にミルクなどを入れ、スチームノズル先端を差込み、スチームメニューをタッチします。
- 2 スチーム噴出時間の終了、または適温になりましたらノズルから容器を取り外します。
 - ⚠ スチームノズルを使用する時は、火傷防止のため、必ず取っ手部分を持つようにしてください。
 - ⚠ スチーム噴出中に容器を取り外すと事は絶対に行わないでください。火傷する恐れがあります。

スチームノズル取手



使用後のお手入れ

使用後は、空吹きを行い、清潔な濡れた布巾等で拭き取ります。

チェックポイント！

使用後は液体が残っている容器にスチームノズルを差込み浸し続ける事を避けてください。パイプ内にドリンクが詰まり、異臭発生や故障の原因になります。



ノズルへの固着がひどい場合は：

- ① 容器にミルクチューブクリーナー30 ccとお水 300 ccを入れます。
- ② スチームノズルを浸して上下に動かし馴染ませます。
- ③ 馴染ませた後、数回に分けてスチームボタンを押します。
- ④ すすぎのため、水 300 ccを準備して、③を行います。
- ⑤ 完了後、スチームノズルを拭き取り終了。

マシンのクリーニングについて

- コーヒー/ミルク/パウダー類のメニューを抽出した後は、各抽出経路の内部が汚れてきます。
 毎日のお手入れは、マシンのトラブル発生(抽出詰まりやミルクの泡立ちが悪い等)を減少させ、
 常にマシン状態を良好に保ち、安定したメニューを抽出するために必要ですので、実施してください。

注意事項)

- ① ブルーマチックジャパン指定のマシンクリーナーをご使用ください。間違った洗浄剤を用いるとマシンに悪い影響を与える恐れがあります。
- ② マシン洗浄プログラムを中断しないでください。洗浄の品質が保てなくなります。

クリーニングの種類説明

◆当該マシンは3つのクリーニング方法にて行います。

I 【オートリンス機能】

コーヒーマシン稼働中に自動で実施されるリンス(洗浄・保温)機能
 コーヒー、ミルク経路を定期時間到達後、自動すすぎを行います。

	グループオートリンス	ミルカーオートリンス
①内容・目的	コーヒー経路の簡易洗浄	ミルク経路の簡易洗浄
②対象メニュー	コーヒー・アイスコーヒー カフェラテ・アイスカフェラテ 《コーヒーを使用するメニュー》	カフェラテ・アイスカフェラテ 他ミルク使用メニュー 《ミルクを使用するメニュー》
③作動頻度	対象メニュー抽出後、次に対象メニューを 抽出する迄 20 分以上経過時に作動。 その後更に間隔が空いた場合には 180 分 おきに1回動作します。	対象メニュー抽出後、次に対象メニューを 抽出する迄 20 分以上経過時に作動。 その後間隔が空いた場合に 30 分おきに1回。
④動作時間	約 1 分	約 20 秒間

II 【パワークリーン】

所要時間:約 1 分

主にミルク経路を簡易すすぎします。

III 【オールインワンクリーニング】

所要時間:約 15 分

グループ、ミキサー、ミルカークリーニングをワンタッチで自動洗浄します

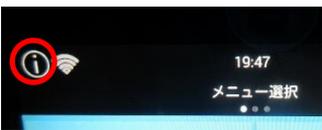
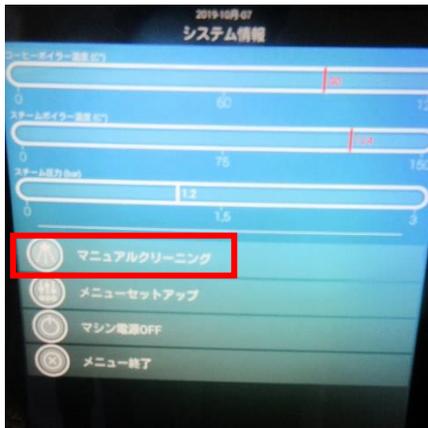
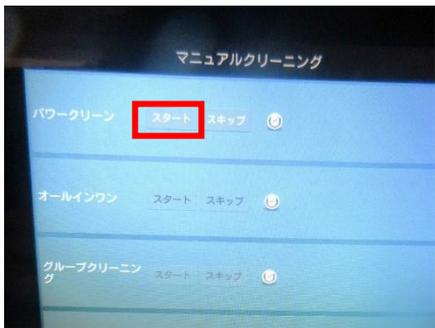
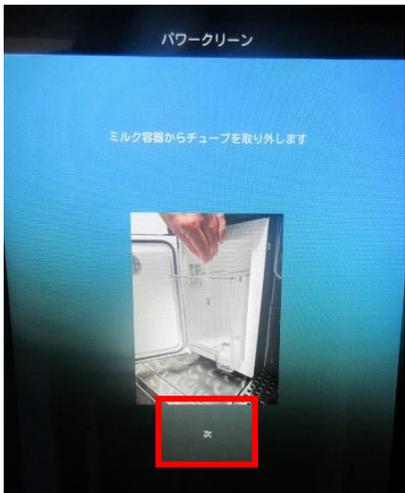
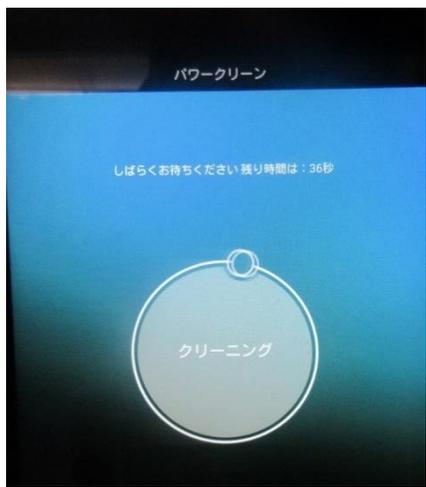
洗浄剤を用い、1 日の作業終了後等

毎日のクリーニング パワークリーン

【所要時間：約1分】

ミルク経路を簡易すぎします。約6時間置きに実施する事をお勧めします。

アイドルタイムなど時間の空いた時に実施してください。

<p>① 販売メニューから「i」をタッチします</p>  <p>拡大</p> 	<p>② 「マニュアルクリーニング」をタッチします。</p> 	<p>③ パワークリーン「スタート」をタッチします。</p> 
<p>④ ミルク容器からチューブを取り外します。 ディスプレイの「次」をタッチします</p>	<p>⑤ 空の洗浄用容器等へ約300ccの水を入れ、④で取外したチューブを差し込みディスプレイの「次」をタッチしてください</p>	<p>⑥ 約1分間クリーニングスタートし、販売画面に戻り、完了します。</p>
		

誤って清掃モードに入ったときは：

清掃モードの画面、一番下の Exit を押してください。

販売画面に戻ります。



毎日のクリーニング オールインワンクリーニング

【所要時間： 約 15 分】

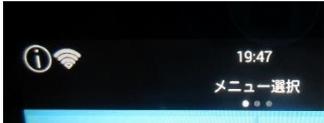
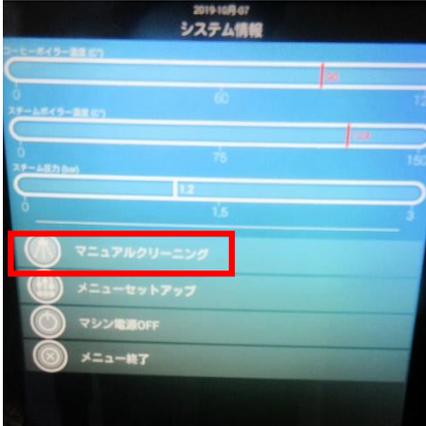
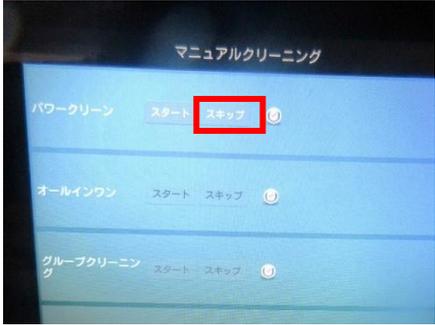
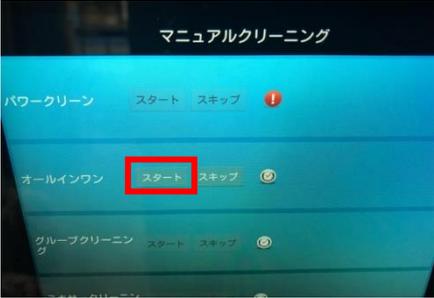
コーヒー、パウダー、ミルクの経路で洗浄剤を使用して一連の動作にて洗浄します。

営業時間の終了時などで1日1回 実施してください。

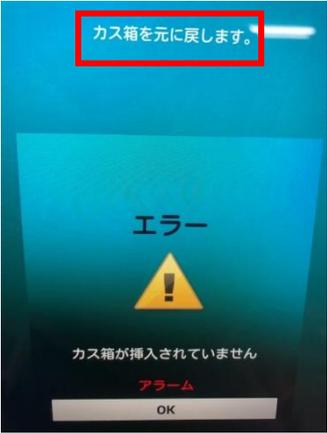
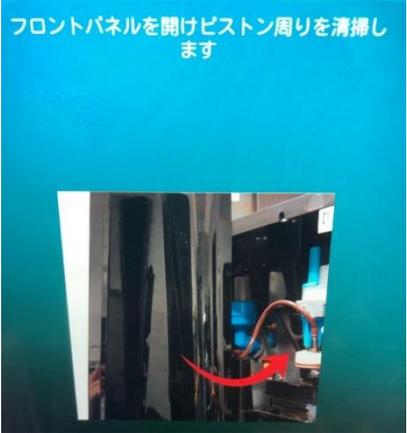
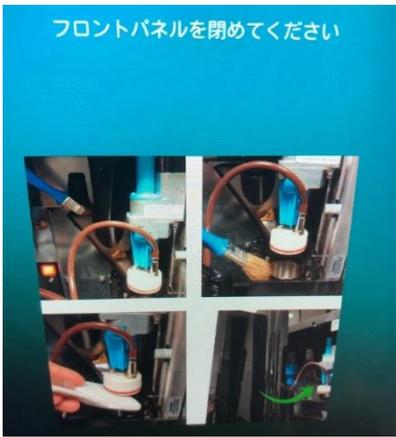
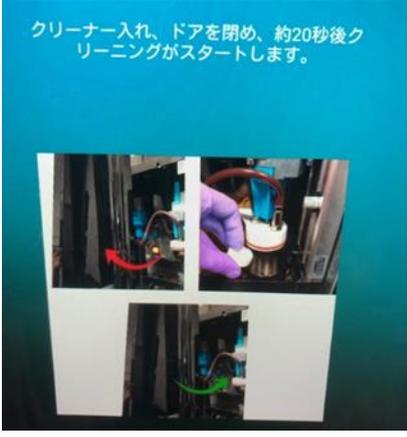
※洗浄時に機器から約 3500 ccを廃液します。排水を排水口に接続してない環境でトレイの上で容器に受ける場合は、予め廃液が入る容量を使用してください。

※尚、機器の仕様にてパウダー無し、ミルク無しの場合はその経路の洗浄は省略されます。

※洗剤が皮膚や目に直接触れないよう、安全の為ゴム手袋や保護メガネの着用をしてください。

<p>① 販売メニューから「i」を押します</p>	<p>② 「マニュアルクリーニング」をタッチします。</p>	<p>③ 一番上のパワークリーンは「スキップ」をタッチして下さい</p>
  <p>拡大</p>		
<p>④ 「オールインワン」を開始するため「スタート」をタッチします。</p>	<p>⑤ クリーニング終了後のマシン電源状態(NO/YES)を選択します</p>	<p>⑥ カス箱を取り出しカスを廃棄、清掃してください</p>
	 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>YES⇒マシン電源 OFF にします No⇒販売画面に戻ります</p> </div>	

次ページに続きます

<p>⑦ 約 4 秒経過後、ディスプレイ中央に「カス箱を元に戻します」と表示されています。カス箱を戻します。</p>	<p>⑧ ディスプレイ表示に従い、ミルク洗浄溶液を準備します。 30 ccの洗浄溶液をミルク洗浄容器等に入れ、ミルク容器からミルクチューブを取り出し、洗浄容器にチューブを入れ、「次」をタッチします。</p>	<p>⑨ 内部を清掃するため、マシンのフロントパネルを開けます</p>
		
<p>⑩ 内部抽出ユニットのコーヒー粉を付属のブラシで掃きます。ピストン底のフィルターに付着したコーヒー粉をふき取り、フロントパネルを閉めます。</p>	<p>⑪ ディスプレイが次工程に切り替わります。再びフロントパネルを開けコーヒー経路用のタブレット 1 錠を抽出ユニットのシリンダーに挿入し、前面パネルを閉めます。</p>	<p>⑫ クリーニングが開始されます。ディスプレイには完了までの目安時間(秒)が表示しています。</p>
		
<p>⑬ クリーニング完了後、⑤で選択した電源 OFF が販売画面に戻り終了です。 ※ 抽出口周辺の汚れはきれいな布などで拭き取ってください。 ※ ディスプレーのふき取りはアルコールを使用しないでください。</p>		

毎日のクリーニング パウダー用ミキサー部の分解洗浄 ※パウダー仕様のマシンのみ対象

1 フロントパネルを開け、パウダー出口を左右にひねりながら外します。

2 ミキサーボディに接続されている、チューブを抜きます。

3 ミキサーボディのロックを反時計方向に回して、解除します。
ミキサーボディを外します。

4 ミキサーボディ、パウダー出口を分解して、付属のブラシで洗浄します。
※パウダー出口とエア抜きラバーは、水分をしっかりとふきとります。

5 エア抜きラバーを取り付けます。

6 マシン本体とミキサーボディのそれぞれの部位が、合うように接続します。
(緑色部⇒黄色部⇒赤色部の順に接続する)

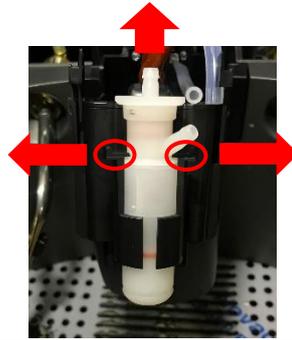
7 ミキサーボディのロックをかけます。
時計回りに回して固定します。

8 パウダー出口を接続し、茶色のチューブを取り付けます。
(パウダー出口は穴が上です)

- 1 ミルカー接続されているチューブ(ミルク用及びスチーム用)を抜きます。



- 2 ミルカー取り付けホルダーを指で広げながらミルカーを下から押して抜きます。



- 3 ミルカーを左右に引っ張り、最下部①の部品を引き抜きます。



- 4 左手で下部②を持ち、右手で上部③④を反時計回りに最後までまわしてロックを解除し、上方向に引き抜きます。
※力を加えながらゆっくり引き抜いて下さい。



- 5 左手で下部③を持ち、右手で上部④を反時計回りにまわしてロックを解除し、上方向に引き抜きます。



- 6 分解したミルカーをミルカークリーニング作成したときと同じ様に洗浄液を作り(クリーナーを水で10倍希釈)つけ置きします。(10分以上)つけ置き後取り出したミルカーは流水でよくすすぎながらブラシにて汚れを落とします。



※汚れがひどい場合はつけ置き時間を延長してください。



7

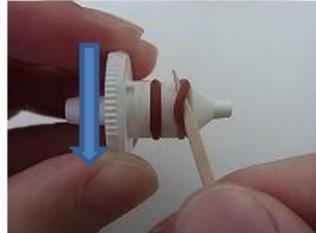
パーツは洗浄後、濡れた状態で組み立てます。(Oリングがスムーズに入りやすいです)

※ 組み立ての際、Oリングに欠けや切れまたは、リングが緩くないかを確認し、破損等がある場合はOリングを交換して下さい。

◎ Oリングの交換方法 ※ 予備のOリングがなくなった場合は注文して下さい



①つま楊枝をOリングの右側に添えます。



②部品を手前に回しOリングを浮かせます。



③Oリングを引っ張り外します。



④新しいOリングを取り付けます。

⚠ ※ つま楊枝で手をケガしないように注意して下さい。

8

ミルクカーを組み立てます。

上部2つのパーツ③④の凹凸位置を確認します。



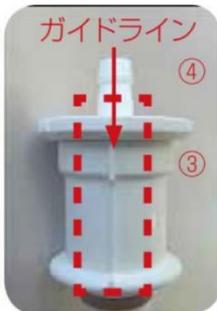
9

パーツ③④の凹凸に注意しながら組み合わせます。



10

隙間がないようにしっかりと組み合わせ、時計回りに回してロックします。



隙間があるとカップ量が少ない、ミルクが泡立たない、もしくは泡立ちが悪い等の原因となります



11

組み立てたパーツ③④と次のパーツ②を組み合わせます。



12

2つのパーツの凹凸位置を確認します。



13

2つのパーツの凹凸に注意しながら組み合わせます。



次ページに続きます

14 隙間がないようにしっかりと組み合わせ、時計回りに回してロックします。

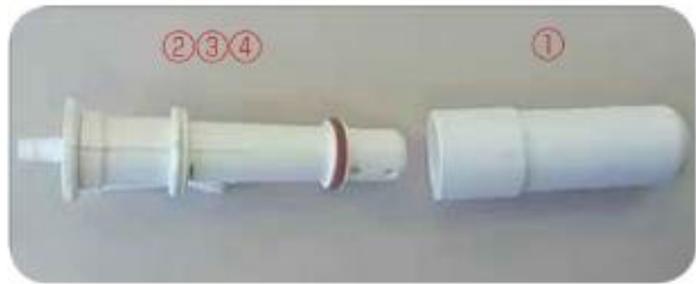


隙間があると
カップ量が少ない、
ミルクが泡立たない
もしくは泡立ちが
悪い等の原因と
なります



ガイドラ
インに合
わせるよ
うに組み
合わせて
下さい

15 組み立てたパーツ②③④と最下部のパーツ①を組み合せてみます。



16 隙間がないようにしっかりと組み合せてみます。→ 完成。

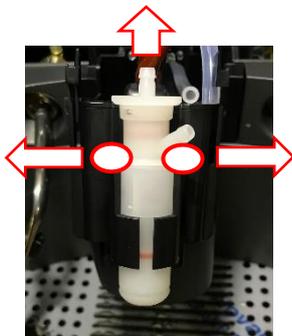


隙間があるとカップ量
が少ない、ミルクが
泡立たない、もしくは
泡立ちが悪い等の原
因となります



最下部
①の
パーツ
にはラ
インは
あり
ませ
ん

17 ミルカーホルダーを少し広げながらミルカーをセットします。



18 ミルカーにチューブ(ミルク用、スチーム用)を差し込みます。

⚠ シリコンチューブは
差し間違いないよ
うに注意して下さい。
差し間違えるとミルクが抽出
されない原因となります。

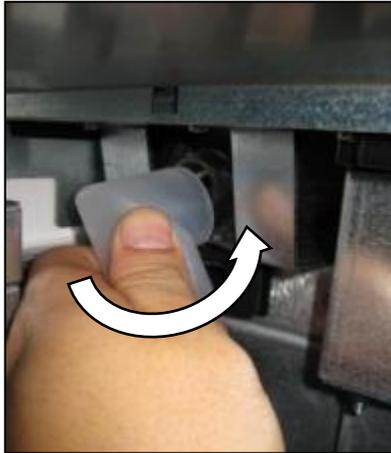


週 1 回のクリーニング パウダーキャニスターの清掃

週に 1 度、下記の手順に従いパウダーキャニスターの清掃を実施してください。

パウダーキャニスター内部を定期的に清掃することで、パウダードリンクが薄い、溶けきれないパウダーの混入、パウダー原料起因のマシントラブルなどの発生を抑制します。

1 前面ドアを開けて、パウダー出口を外します。



2 パウダーキャニスターを奥に傾けながらゆっくり持ち上げて取り外します(パウダーがこぼれ出ないように注意)



3 キャニスター内に残ったパウダーを清潔な一時受け容器等に移してください。清潔に管理されているキャニスター清掃用ハケを用いて容器に付着したパウダーを一時受け容器に移します。吸湿して固まっているパウダーがある場合は、細かく粉碎するか除去してください。



4 パウダーキャニスターの内面、ホイールや粉送りスクリー等ハケで清掃します。特に、ホイール、粉送りスクリー等の可動部、容器底の出口付近にパウダーが残らないように清掃してください。



5 清掃済みの空のパウダーキャニスターをマシンにセットし、パウダー出口を取り付けてください。



6 パウダーを一時受け容器からパウダーキャニスターに戻してください。パウダーの固まりが混入しないよう、こぼさないよう注意しながらキャニスターに補充し、フタを閉めてください。



取付け間違い
穴は上向きが正しい。



マシン機能上のメッセージ(アラーム) 一覧 故障ではありません

マシンのアラームはディスプレイの中央とディスプレイ画面の右上に赤く「i」マークが表示してお知らせします。下記のアラームが出た場合は故障ではございませんので、処置の上、復旧させてください。



各アラーム表記	処置内容
前面ドアが開いています	原因: フロントパネルが正しく閉じられていません。 処置: フロントパネルを閉め直し、電源を入れ直しマシンを立ち上げてください。
カス箱がいっぱいです	原因: コーヒーカス受け箱が満杯です。 杯数が設定した規定量に達しました。 処置: カス受け箱を取り外し、コーヒーカスを捨ててください。約 4 秒後、ディスプレイ表示が「カス箱が挿入されていません」になりましたらカス受け箱を挿入してください。
カス箱が挿入されていません	原因: コーヒーカス受け箱が正しく挿入されていません。 処置: カス受け箱を正しい位置に挿入しなおしてください。
コーヒー豆が入っていません 1 コーヒー豆が入っていません 2	原因: コーヒー豆容器にコーヒー豆がありません。 1=右側のホッパー 2=真中のホッパー コーヒー豆容器が正しくセットされていません。 (ストッパーが解除されていません。) 処置: コーヒー豆容器にコーヒー豆を補充してください。 コーヒー豆容器を正しくセットして下さい。 (ストッパーを解除して下さい。) 注: 豆を入れただけではメッセージは消えません。 抽出ボタンを押し抽出動作が行われるとメッセージが消えます。
排水トレイがいっぱいです	原因: 排水トレイが満杯です。 排水口へ直結の場合は、排水が詰まっている可能性があります。 処置: 排水トレイ抜き、トレイを空にして清掃後、再度挿入して下さい。 排水直結の場合、詰まらない様にコーヒー、お湯以外は流さないでください。 ホースの勾配が取れているか確認してください。

次ページに続きます

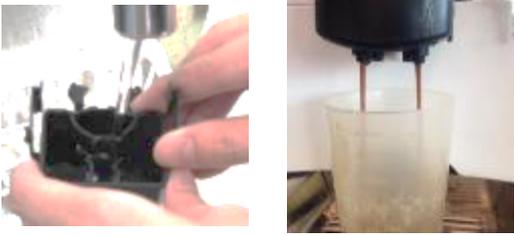
各アラーム表記	処置内容
排水トレイが外れています。	<p>原因：排水トレイが正しく挿入されていません。</p> <p>処置：排水トレイを正しい位置で挿入しなおしてください。</p>
90 浄水カートリッジの交換時期です	<p>原因：浄(軟)水カートリッジの交換時期を表しています。</p> <p>マシンに予め設定した交換時期、水量に到達した事を表しています。</p> <p>処置：浄(軟)水器のカートリッジを交換してください。</p>
92 点検時期に到達しました	<p>原因：マシン本体の点検時期に到達した事を表しています。設定した点検時期、稼働数に到達した事を表しています。</p> <p>処置：マシンの点検を行ない、磨耗して交換が必要な部品を取り替えて、アラームをリセットします。</p>
93 グラインダー メンテナンス	<p>原因：グラインダー(豆を挽く部品)の点検時期に到達した事を表しています。設定した点検時期、稼働数に到達した事を表しています。</p> <p>処置：部品の点検を行ない、磨耗して交換が必要な部品を取り替えて、アラームをリセットします。</p>
67 フリッジ接続 ※オプション 専用ミルク保冷庫のみ表示	<p>原因：ミルククーラーとマシンが接続、通信されていません。</p> <p>処置：ミルククーラー側の電源が切れている通信ケーブルが外れていないか確認します。</p>
ミルクが入っていません ※オプション 専用ミルク保冷庫のみ表示	<p>原因：ミルク容器のミルクが不足しています。</p> <p>処置：ミルクを補充してください。</p>

こんな時は

こんな時は	調べるところ
電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none"> ① マシン内部の主電源スイッチがOFFになっていませんか？ ② コンセントあるいはマシン底部の電源プラグが抜けていないか確認してください。 ③ コーヒーマシン用のブレーカーが落ちていないか確認してください。
コーヒーを抽出する時： <ul style="list-style-type: none"> 1. 味がうすくなった。 2. コーヒーの出方が悪い。 3. ピストンパッキンが切れている。 4. 抽出湯量が減った。 5. コーヒーの泡立ちが悪い。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 上ピストン底のフィルターを拭く。 ② マシンのクリーニングを行ってください。 ③ ピストンOリングを交換する。 ④ ホッパー(豆の容器)の内部を清掃してください。 (コーヒー豆の脂が付着しますと、新鮮なコーヒー豆の劣化を早めます。 内部にコーヒーの油脂が付着しないように、ホッパー内部をペーパータオルでこまめに拭いて下さい。)
コーヒーの量が少ない	<ul style="list-style-type: none"> ① 抽出の出方が細い(詰まり気味に抽出される)場合は、上ピストン底のフィルターを拭いて下さい。 ② コーヒーの抽出チューブが正しく接続されていますか？ ③ コーヒーカスに水分が多く含まれている時は、抽出時にコーヒーが漏れている可能性があるため、上ピストンのOリングを交換してください。] ④ マシンのオールインワンクリーニングを行ってください。
ミルクの量が少ない。 ミルクの泡立ちが悪い。	<ul style="list-style-type: none"> ① ミルクが十分に冷えている(10℃以下)か確認してください。 ② ミルクチューブが折れ曲がりがないか確認してください。 または、ミルククーラーとマシンの間で、チューブの挟み込みがないか確認してください。 ③ マシン内部のミルクカーに接続するチューブに抜けかかりがないか確認してください ④ マシンのミルク経路の簡易洗浄 パワークリーニングを行ってください。 ⑤ マシンのオールインワンクリーニングを行ってください。 ⑥ ミルクのシリコンチューブが汚れている場合はシリコンチューブを交換してください。
マシン下より水漏れ。	<ul style="list-style-type: none"> ① 排水ホースが詰まってないか確認してください。 (牛乳などをトレイに流しますと、脂肪分が固まり、流れ難くなります。流さないようにしてください。) ② 排水トレイがきちんと挿入されているか確認してください。 ③ 漏れ液がパウダーメニューの場合、ミキサーが正しく接続されていない可能性があります。 フロントパネルを開け、ミキサーを外して、再度組み立てしてください。 ミキサーのチューブ接続状態を確認してください。
パウダーメニューの抽出量が少ない。 (味が薄い)	<ul style="list-style-type: none"> ① パウダー(原料)がパウダー容器に十分に入っていますか？ ② パウダー容器がマシンに正しくセッティングされていますか？ 本体にしっかり挿入されていない(容器が浮いている)場合は、パウダー容器を入れ直してください ③ ミキサーが正しく取り付けられているか確認してください。 ④ ミキサーのチューブが正しく接続されているか確認してください。 ⑤ パウダー容器内の部品が正しくセットされていますか？ パウダーをパウダー容器から全て出して、中の粉送りスクリューがスムーズに回転するか確認してください。
ミルククーラーが冷えない。	<ul style="list-style-type: none"> ① ミルククーラーの主電源がONであるか確認してください。 OFFの場合はコンセントの抜けやブレーカーがOFFになっていないか確認してください ② ミルククーラー後部の吸気フィルターが汚れていませんか？ ③ ミルククーラー後部が壁や他の機器に密着せず、5センチ以上確保されていますか？ (すき間の確保が無いと冷え難くなります)

※ ここに書いている処置をしたのに改善しない。
 或いは、ここに書いている以外の状態が発生した場合は、弊社コールセンターへご連絡下さい。

こんな時は(トラブルシューティング 1)

症状、エラー	原因	処置
12H モーターエラー	<p>上ピストンの汚れや Oリングの摩耗・破損などによりピストンに負荷が生じた際に発生します。</p> 	<p>上ピストン Oリング周囲に付着するコーヒー粉やコーヒー粉が入るシリンダー周りをハケで清掃またはペーパータオルで拭き清掃します。</p> <p>Oリングの摩耗や破損が見られれば交換します。</p> 
<p>コーヒー豆が入っていません 1 または 2 豆を補充して下さい</p>	<p>ホッパーやシューター汚れなどでコーヒー粉が規定量シリンダーに入っていないと表示されます。</p> 	<p>ホッパーが汚れていないか確認。</p> <p>シューターに粉が堆積しないか確認。堆積が見られたらハケで清掃。</p> 
<p>抽出口以外の場所から溢れる。 片方しか出ない 抽出に時間がかかる</p>	<p>抽出口の汚れ(微粉や油脂)でコーヒー抽出口が詰まっている。</p> 	<p>コーヒー抽出口を取り外し、分解洗浄を行います。 P23 参照</p> 
32 給水タイムアウト	<p>コーヒーマシンやシンク側で水道の元栓が閉じられ、マシンに水が供給されていない状態が考えられます。</p> 	<p>元栓を確認して下さい。</p> <p>カウンター下だけではなく、シンク側にも元栓が取り付けられている場合がありますので確認します。</p> 

※ ここに書いている処置をしたのに改善しない。
或いは、ここに書いている以外の状態が発生した場合は、弊社コールセンターへご連絡下さい。

こんな時は(トラブルシューティング 2)

症状、エラー	原因	処置
<p>パウダーメニューの量が少ない パウダーの液体がマシン下に漏れる ミキサーボディーから液体が溢れる。 液体が出てこない</p>	<p>ミキサーボディーやパウダーの抽出口にパウダー粉の溶け残りが詰まっていることがあります。</p>  <p>パウダーの抽出口</p> <p>※画像は抹茶パウダの例</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ミキサーボディーを外し溶け残りがいないか確認します。 ・ミキシングモーター側に汚れが固着していたら清掃をします。 ・パウダー抽出口を清掃用ブラシで清掃します。 
<p>カス箱がいっぱいです。</p>	<p>カス箱は満杯の状態です。 既定の設定杯数が抽出されたことで表示するアラームです。</p>	<p>カス箱を取り出しカスを捨ててください。 約 4 秒後、『カス箱が挿入されていません』になりましたらカス箱を戻して下さい。</p>
<p>排水トレイがいっぱい です。</p>	<p>排水トレイが満水時の表示です。 金属部(センサー部)が汚れている。 排水が流れず排水トレイに溜まると表示します。</p>	<p>排水トレイ左側に付いている銀色の金属部分を拭き取り清掃して下さい。 清掃後、再度トレイを奥まで挿入して下さい。 排水ホースの詰り、または途中で山なりになっていないか確認して下さい</p>
<p>排水トレイが外れています。</p>	<p>排水トレイが正しい位置に挿入されていない</p>	<p>排水トレイを一度抜いてから再度奥までしっかりと挿し直してください。</p>
<p>ミルクが出てこない ミルクの量が減った。 泡立ちが悪い。 ミルクが飛び散る。 ミルクメニューの温度が低い</p>	<p>ミルクが通る経路で乳脂肪の汚れがあると正常な抽出が出来なくなり症状が発生致します。</p>	<p>ミルク残量、ミルク容器の底にシリコンチューブ先端が届いているか確認して下さい。 ・ミルク容器につながるシリコンチューブが途中で折れる、押しつぶされるなどしてないか確認して下さい。 ・ブラシを使ってミルク抽出口に固着している乳脂肪汚れを除去して下さい。</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・パワークリーンを実施して下さい。(P14 参照) ・オールインワンクリーニングを実施して下さい。(P15 参照) ・ミルクが冷え過ぎていないか確認してください。
<p>ミルクが入っていません</p>	<p>ミルクタンクにミルクが入っていないことを検知し表示するアラームです。</p>	<p>ミルクが容器に十分に入っているか確認して下さい。 容器に入っていない場合はミルクを補充してください。 ミルクが入っていても表示される場合、弊社コールセンターへ連絡をお願いします。</p>

※ ここに書いている処置をしたのに改善しない。

或いは、ここに書いている以外の状態が発生した場合は、弊社コールセンターへご連絡下さい。

コーヒー抽出ノズルの分解洗浄

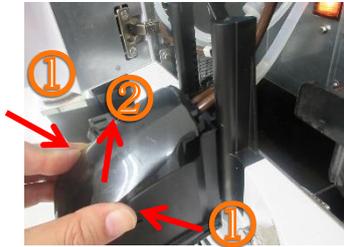
マシンクリーナーとコーヒー抽出ラインの自動洗浄を行うことで、コーヒー粉の固着を抑制しますが、コーヒーの出方が悪い場合、下記手順に従い抽出口の分解洗浄を実施して下さい。

①



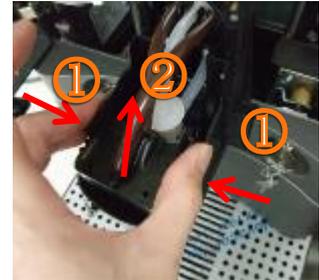
フロントパネルを開きます

②



抽出部蓋を外します。
左右の角部①を押しながら上方向へ
上げると外れます。

③



抽出口ガイドのつまみを矢印の方向(内側)
につまみます。つまんだまま上方向へ引き
上げます。

④



抽出口ホルダーから抽出口ガイドを
取り外します。

⑤



抽出口 TOP カバーの丸印の部分の
引っ掛けを少し広げて外します。
(注) 広げすぎると折れる場合があるため
注意します。

⑥



茶色のコーヒーチューブは TOP カバーに
繋いだままにします。
(注) チューブを外すと取り付けを間違え
てしまう場合があります。

⑦



取り外した抽出口ガイドの中を水洗いし
ます。

⑧



出口の部分にもカスが固着している
可能性がありますので清掃用ブラシで清
掃します。

⑨



洗浄後 TOP カバーを上からはめ込みます。
正常にはめ込まれたらカチッと音になります。
(注) ツメを拡げる必要はありません。

⑩



抽出口ホルダーとコーヒー抽出口の○
の部分をはせるようにします。
(注) セットする際、チューブが折り曲がら
ないように注意します。

⑪



チューブに折れ曲がりが無ければ
組み立て完了です。

⑫

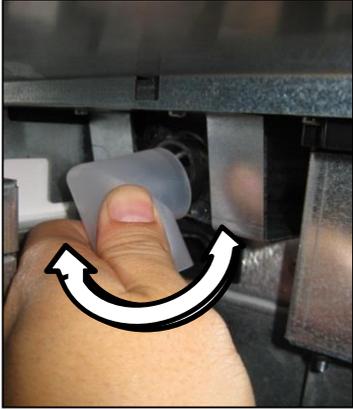


抽出部蓋を取り付けます。
手前から奥にスライドさせ取り付けます。

パウダー用キャニスターの分解洗浄

パウダー経路のマシנקリーニングを行うことで、経路の粉汚れの固着を抑制しますが、パウダーメニューの抽出量不足、メニューの完成品が薄い、パウダー固化が見られた場合には、パウダー用キャニスターを下記手順に従い分解洗浄を実施して下さい。

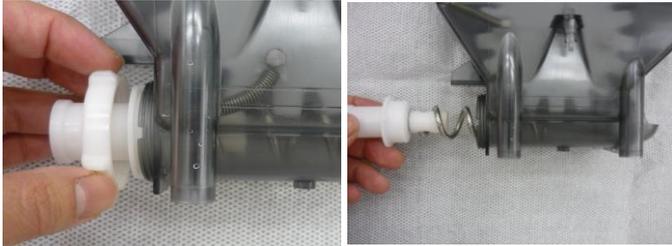
1 フロントパネルを開けて、パウダー出口を外します。



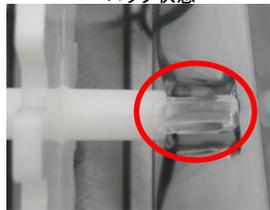
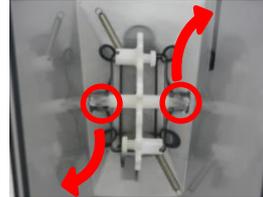
2 キャニスターを奥に傾けながらゆっくり持ち上げて、取り外します。



3 粉送リスクルー固定リングを左に回して外し、固定スクリューを取り外します。



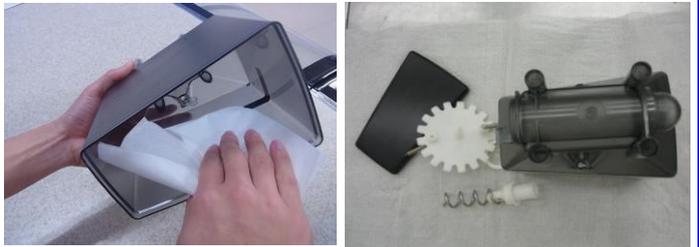
4 ホイールを固定しているロックピンを片方ずつ右に回し解除してホイールを外します。



5 キャニスター及び外した各部品を洗浄します。
※食器洗浄機の使用は避けて下さい。
変形や破損の原因となります。



6 洗浄後、ペーパータオルで水分を拭き取り自然乾燥させます。

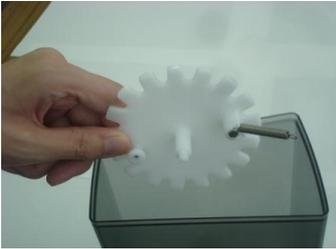


次ページに続きます

7

キャニスターを組み立てます。
ホイールを取り付けます。

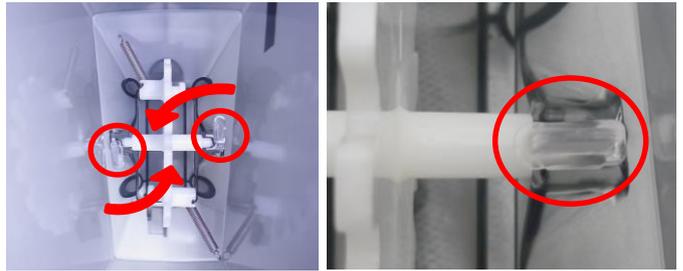
※この時、バネが引っかからないようにするため
ホイールに付いているバネを必ず横向きにして
入れて下さい。



8

ホイールロックピンをロックします。
左回りでピンをロックします。

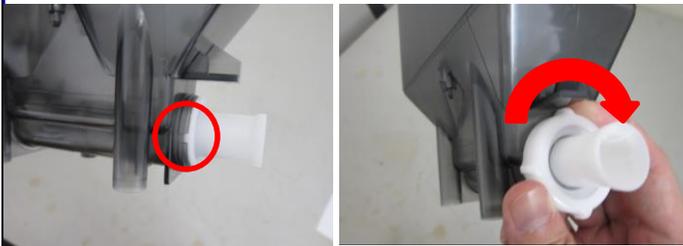
ロック状態



9

パウダー送りスクリューをセットし、固定リングで
固定します。

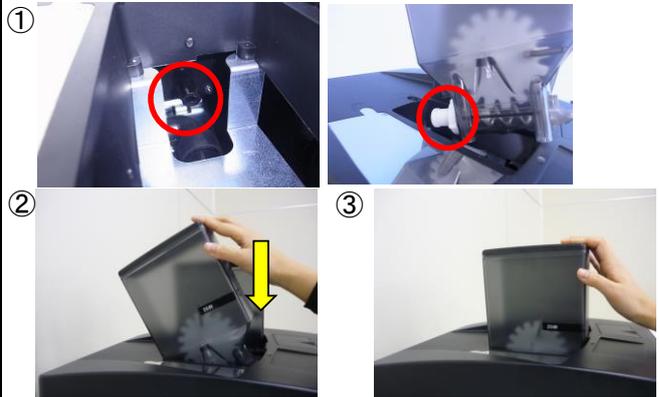
※凹凸の位置を合わせてセットし、リングを
右回りで固定します。



10

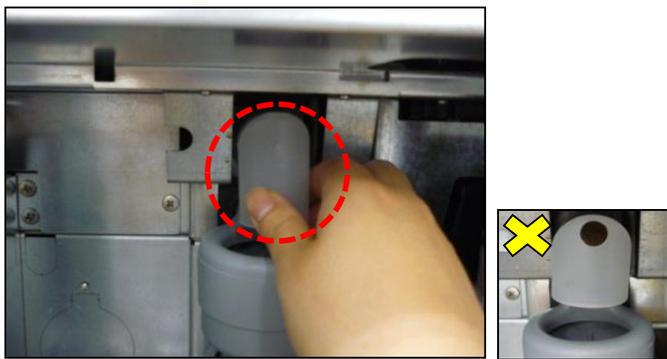
キャニスターが乾いている事を確認し、
マシンに取り付けます。

※接合部を確認し、奥から斜めに差し込みます。



11

パウダー出口を取り付けます。
(パウダー出口は穴が上です)



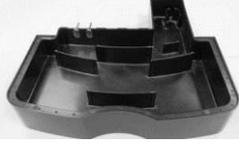
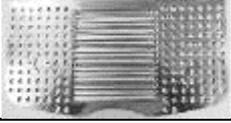
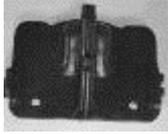
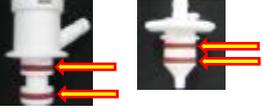
12

キャニスターにパウダーを補充します。



消耗品・スペア部品

以下、消耗品、スペア部品を取り扱っております。販売店もしくは弊社コールセンターにお問い合わせください。

商品コード	名称	画像
9501802	前面ドア用キー1本	
106853	HARMONY カス箱 ASSY(Mat BK)	
72680	HARMONY 排水トレイ ASSY ※すのこ含まない ※排水ホース接続用穴あけ加工が必要な場合、注文時にお申し出ください。	
1405056	排水トレイすのこ HARMONY V3	
72610	(オプション) C型カップストッパー L16	
37050101	ハーモニー抽出部蓋	
3700790	抽出口 TOP カバー (ハーモニー)	
770011	(分解洗浄対象部品) ミルカーOリング(大)	
770012	(分解洗浄対象部品) ミルカーOリング(小)	
3700789	(分解洗浄対象部品) 抽出口ガイド (ハーモニー)	
3700791	CR ミキサー抽出口 (ハーモニー)	
8605027	(分解洗浄対象部品) ミキサーマニホールドセンター	

商品コード	名称	画像
3705157	(分解洗浄対象部品) ミキサーボディー キャップ V3(青)	
3705334	(分解洗浄対象部品) ミキサーボディー	
9501677	(分解清掃対象部品) パウダー出口	
105039	(分解清掃対象部品) キャニスターASSY V2 ※蓋含む	
3700808	(分解清掃対象部品) ホッパー/キャニスター蓋(ハーモニー)	
1600034	ミルクチューブ先端吸入口(4mm)	
72500	上ピストンOリング	
93130	清掃用ブラシセット (写真と異なる同等品になる場合があります)	
904112	清掃用ハケ (写真と異なる同等品になる場合があります)	
9100055	ミルクライン洗浄用ボトル (写真と異なる同等品になる場合があります)	
93000	マシンクリーナー(2g) 100錠入り	
93100	ミルクチューブ クリーナー 1000ml	

保証とアフターサービスについて

1. 保証書

- 本書に添付しています。
- 保証書は「お買い上げ日」の記入をお確かめのうえ、お受け取りください。
※記入が無い場合でも、お買い上げ日を証明する書類がある場合は、本保証書と一緒に保管してください。
- 保証書記載の修理規定をよくお読みになり大切に保管してください。

2. 修理を依頼される時

取扱説明書の内容をお確かめいただき、不具合が直らないときは電源プラグをコンセントから抜き、当社に修理についてご相談ください。

●保証期間中の修理

保証書の規定により無料修理致します。お買上げの販売店または当社までお申し出ください。

●保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理をさせていただきます。当社にご相談ください。

●販売店が独自に定める延長保証(長期保証)サービスをご利用の場合

お買い求めの販売店にご相談ください。

コールセンター

ブルーマチックジャパン株式会社

045-947-0804

受付時間: 365日 24時間

※夜間については、受付業務のみとさせていただきます。

3. アフターサービスについてご不明な場合

- アフターサービスについてのご質問等ありましたら、当社にお問合せください。

アフターサービスを依頼される場合は次の内容をご連絡ください。

- | | |
|-------|---------------------------------------|
| ●お名前 | ●商品名 HARMONY ULTRA V2(ハーモニーウルトラ ブイソー) |
| ●ご住所 | ●製造番号 |
| ●電話番号 | ●故障の状態、状況(出来るだけ詳しく) |

ご使用の際の注意事項

コーヒーマシンを常に最適な状態に保つために、定期的な清掃作業を行ってください。

清掃作業は取扱説明書に従い、適切に洗浄してください。

使用開始前及び終了後は取扱説明書に従い洗浄してください。

使用中に取扱説明書に書かれていない不具合が発生したら直ちにご使用を止め、当社へご連絡ください。

補修用性能部品の保有期間について

当社では、補修用性能部品について、最終輸入日から5年間保有しております。

※補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

保 証 書(業務用マシン)	
型 名	カリマリ社製 コーヒーマシン HARMONY ULTRA V2
シリアル番号	
保証期間	ご購入時または設置の早い方の日から1年間
※お買い上げ日	年 月 日
※お客様	お 名 前
	住 所 〒 電話()

- ※印欄に記入の無い場合は有効となりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。
- 本保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

■対象マシン

本保証書に記載のマシン。

■サービス提供

「出張修理」

■保証サービス規程

ブルーマテック保証サービス(以下「本保証」といいます。)は、商品のご購入または設置の早い方の日から開始され、ブルーマテックジャパン株式会社(以下「ブルーマテック」といいます)がサービスを運営・提供します。保証書に記載された製品(以下「本製品」といいます。)について、「保証サービス規程」(以下「本規程」といいます。)に定めるところに従い、無償修理(以下「保証修理」といいます。)を提供します。

第1条. 保証範囲

1. 本保証は、本製品の取扱説明書や注意書に従って正常に使用したにもかかわらず、本製品に生じた電氣的・機械的故障で且つ、本製品のメーカー保証規定にて保証対象となる故障(以下「自然故障」といいます。)を対象とします。
2. 第10条で定める「保証の適用除外事項」に該当する場合には、自然故障であっても本保証の対象外とします。

第2条. 保証期間

本保証が効力を有する期間は、本製品のご購入または設置の早い方の日から開始し、その後1年間が経過した時点で満了いたします。(以下、この期間を「保証期間」といいます。)保証期間内において本製品に係る修理回数に制限はないものとします。保証期間内に初期不良等によりブルーマテックより交換品(新品)が提供された場合、その他事由の如何を問わず、保証終了日は変更されないものとします。

第3条. 保証内容

保証期間内に本製品に自然故障が発生した場合には、当該自然故障に係る保証修理に要する金額が、購入金額を超えない範囲で保証修理を行います。(以下、「上限金額」といいます。)なお、修理見積りが上限金額を超えた場合は、差額をご負担いただくことで修理いたします。保証上限金額は消費税込の金額となります。本製品は、ブルーマテックが規定する出張修理対象製品であるため、出張修理での保証修理を行います。この場合の出張料は本保証に含まれます。

第4条. 保証の終了

以下の事項に該当する場合には、本保証は終了となります。

1. 第2条に定めるところに従い、保証期間が満了した場合。
2. メーカーの倒産、事業撤退、修理部品の供給停止、その他メーカーがその責任により本製品の修理を行えず、又は修理のための部品等の供給を行えない状態となった場合(事業承継等により、メーカーと同水準・同条件にて修理を行う者が存在する場合、又は代替品の提供が可能な場合は除く。)

第5条. お客様のご負担となる主な費用

以下に定める事由ないし費用は、本保証には含まれておらず、専らお客様のご負担によるものとします。但し、本保証の範囲外の事由ないし費用を、これらに限定する趣旨ではありません。

1. 本製品の修理方法を問わず、ブルーマテックジャパンの定める離島及び遠隔地の場合における、保証修理に要する交通費・宿泊費 等。
2. 本製品の設置・工事費用及び本製品の処分に係る費用。
3. 本保証利用時にお客様からのご連絡に必要な費用、その他通信費用。
4. 本保証の対象外となる故障及び当該故障の修理に必要な費用。
5. 本保証の対象外となり、保証修理をキャンセルされた場合に必要となる技術費用、出張費用、物流費用、見積費用等の一切の費用。
6. 修理以外の点検費用や消耗品を使用した場合の費用。

第6条. 保証修理の依頼方法

保証期間内に本製品に自然故障が発生した場合には、お客様は、ブルーマテックコールセンター(下記記載)に連絡して保証修理をご依頼ください。保証修理受付時に、保証修理手続の手順をご説明しますので、説明手順に従ってください。

ブルーマテックコールセンター045-947-0804

1. お客様による保証修理のご依頼をいただいた際、ブルーマテックコールセンター、お客様の本保証に関する保証登録情報(製品情報及び個人情報)の確認をいたします。お客様より保証修理依頼に際してご通知いただいた情報と登録情報との間に相違があった場合、その他お客様より必要な情報のご通知をいただけない場合には、本保証が提供されない場合がございますので、お客様におかれましては、本保証の加入後、保証書(必要情報が記載されております。)の保管・管理に十分ご注意くださいとさせていただきます。
2. ブルーマテックが必要と判断した場合に本製品に係る記憶装置のデータの消去を行うことについては、お客様には事前にご同意いただいているものとし、何ら異議を述べないものとします。
3. お客様のご都合により、修理受付日から1カ月経過しても修理の着手ができない場合には、修理受付を無効とします。

第7条. 登録情報の変更

以下の場合には、お客様におかれましては、速やかにブルーマテックコールセンターまでご通知ください。ご通知いただけなかった場合には、本保証が適用されない場合があります。なお、保証書に記載されたお客様情報の変更は、保証書に記載されたお客様から、ご通知いただいた場合に限り承ります。

1. 保証期間中に加入者名の変更や連絡先電話番号、住所等の変更がある場合。本規程をご説明の上、お客様より新しい所有者の情報をご通知ください。系列店の譲渡のみ所有者情報変更を承ります。本製品の第三者への転売や譲渡をされる場合には、本保証は終了となります。

第8条. 個人情報の使用

ブルーマテックは、お客様よりご提供いただいた保証項目、個人情報等を保管、使用、処理の上、本保証を提供します。また、本保証を提供する為、以下の場合に限り、ブルーマテックの責任において、事業協力

会社(メーカー・修理会社・販売店・金融機関等)へお客様の個人情報を提供します。

1. 保証修理(代替品の提供を含む。)に際してブルーマチックと事業協力会社による個人情報の共有が必要となる場合。
 2. 本保証およびその他のサービスの品質向上を目的として、お客様に電子メール、郵便物によるアンケート調査。
 3. サービス案内およびキャンペーン等の実施。
 4. 本保証の品質向上を目的として、お客様における本保証の利用に関する情報を収集し分析すること。
 5. 個人情報の取扱いの全部または一部を委託する場合があります。
 6. ご提供いただいた個人情報を同意なしに第三者へ提供することはありません。
- お客様からの求めにより、ご提供いただいた個人情報について、その「利用目的の通知、開示、追加訂正または削除、利用の停止消去および第三者への提供の停止(以下「開示等」といいます。)」に応じます。

第9条. 間接損害

本保証に関する法律上の請求において、間接損害(事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失等)、特別損害、付随的損害、拡大被害、他の機器や部品に対するデータの損失又は損傷、第三者からの賠償請求に基づく損害、身体障害(障害に起因する死亡及び怪我を含む。)並びに他の財物に生じた損害に関して、ブルーマチックは一切の責任を負わないものとします。但し、ブルーマチックの故意又は重過失によるものがある場合には、この限りではありません。

第10条. 保証の適用除外事項

以下の事項に該当する場合には、本保証は適用されないものとします。

1. お客様又は第三者の故意若しくは過失又はメーカー保証の対象外である加工、改造、修理、設置、工事若しくは清掃に起因する故障及び障害。
2. 使用する水質、水圧等の不良が原因で発生した故障及び損傷。
3. 取扱説明書、注意書に記載している取扱方法とは異なる不適切な使用(日常のお手入れ、改造行為、増設、電池漏洩等)等、取扱いが不適当であることに起因する故障及び損傷。
4. メーカーが定める想定された用法を超える過酷な使用に起因する故障及び損傷(車両、船舶への搭載、高温、高湿度等の特殊な環境での使用を含む。)
5. 破損、落下、衝撃、火災、落雷、過電流、異常電圧、塩害、公害、水害、地震、その他天災地変や、異物の混入(金属、カビ、塵、埃、虫、鼠等)の外的要因事由に起因する故障及び損傷。
6. 消耗品(浄水カートリッジ、クリナー、フィルターペーパー、パッキング、ガスケット、電池、等ブルーマチックジャパンが指定する部品)の交換に係る費用。
7. 消耗品単体の故障及び損傷。
8. メーカー指定外の消耗品の使用に起因する故障及び損傷。
9. 盗難、紛失、その他の事由により、お客様が本製品を保有しておらず、本製品の状態が確認できない場合。
10. 経年劣化あるいは使用損耗により発生する現象で、通常使用に支障の無い部分で経年劣化の範囲に相当するもの(外装品、塗装面、メッキ面、樹脂部分、スプリング等のヘタリ、自然退色、劣化、錆、腐食、カビ変質、変色、その他類似の事由等)。
11. 本製品の機能及び使用の際に影響の無い損害(外観、傷、液晶の画面焼けやピクセル抜け及び輝度低下を含む)。
12. 本製品の仕様、構造上又は本来的性質に基づく制限、不利益等。
13. 本製品の付属部品、アクセサリ、周辺機器等の本製品以外の製品の故障、増設機器等の相性に起因する故障及び不具合。
14. ブルーマチックが保証修理の依頼を受けた本製品の点検・診断を実施した結果、故障の存在を確認できなかった場合。
15. 本保証の対象外に起因する故障であることが判明した場合の修理技術費用、部品代金、出張費用、物流費用、修理見積費用等。
16. 修理を伴わない調整(味や量、ミルク泡立ち、メニュー変更や追加)、清掃。
17. お客様ご自身で付加されたラベル・シート・カバー類、塗装・刻印等を元の状態に復旧する費用。
18. 本製品を日本国外に持ち出された場合の日本国外からの保証修理依頼。
19. 国又は公共団体の公権力の行使に起因する故障及び損傷。
20. 核燃料物質若しくは核燃料物質による汚染された物の放射性、爆発性その他の有害な特性に起因する故障及び損傷。
21. 戦争(宣戦の有無を問わず)、外国の武力行使、革命、内乱その他これらに類似の事象に起因する故障及び損傷。
22. 本製品の損害に係る申告内容の真実性について明らかな疑義がある場合。
23. 本製品と異なる製品(シリアル番号等が異なる場合等)の修理をご依頼された場合や、本製品のシリアル番号が確認できない場合(但し、製品の内蔵データ等から本製品と同一と確認ができる場合を除く。)

第11条. 本保証の解約

本保証は加入後から保証期間終了までの間、解約することは出来ません。

第12条. 解除

ブルーマチックは、お客様が、次のいずれかに該当する場合には、お客様に対する書面による通知をもって、本保証を解除することができます。

1. 暴力団、暴力団員(暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者を含む。)、暴力団準構成員、暴力団関係企業その他の反社会的勢力(以下「反社会的勢力」といいます。)に該当すると認められること。
2. 反社会的勢力に対して資金等を提供し、又は便宜を供与する等の関与をしていると認められること。
3. 反社会的勢力を不当に利用していると認められること。
4. 法人である場合において、反社会的勢力がその法人の経営を支配し、又はその法人の経営に実質的に関与していると認められること。
5. その他反社会的勢力と社会的に非難されるべき関係を有していると認められること。

前項の規定による解除が自然故障の後になされた場合であっても、前項各号の事由が生じた時から解除がなされた時まで発生した自然故障については、保証修理を行いません。この場合において、既に保証修理を行っていた時は、ブルーマチックは、当該保証修理費用相当額の返還を請求することができます。

第13条. その他の注意事項

1. 故障並びに損害の認定等についてブルーマチックとお客様の間で見解の相違が生じた場合には、ブルーマチックは、中立的な第三者の意見を求めることができます。
2. 修理依頼品において、返却可能日をお知らせしている場合(お客様のご都合でお知らせできない場合を含む。)、依頼をお受けした日から3ヶ月を経過してもお受け取りいただけない時は、ブルーマチックにて処分します。その際には修理費用(キャンセルに伴う一切の費用を含む。)に加え、処分に要した費用の一切を、ブルーマチックの請求に従い速やかにお支払いいただくものとします。
3. お客様は、本製品をご購入または設置いただいた時点で、本規程にご同意いただいたものとします。

第14条. 本規程の変更

1. ブルーマチックは、本規程の目的に反しない限度で、法令に従って本規程を変更することがあります。
2. 前項に基づき本規程を変更する場合には、ブルーマチックのホームページへの掲載その他適切な方法により、変更内容及び変更時期を事前にお客様に周知することとします。

輸入代理店
ブルーマチックジャパン株式会社
神奈川県横浜市都筑区仲町台5-4-22

[MEMO]

[MEMO]



ブルーマチックジャパン株式会社

本社：〒224-004 神奈川県横浜市都筑区仲町台 5-4-22

<http://www.brewmatic.co.jp/>



240510